

カーディナル ルール



EVERY ONE.
EVERY JOB.
EVERY DAY.



落下の危険がある場所では落下事故からの保護を必ず確保します。



電源を必要としない場合にロックとタグアウトの手順に必ず従います。



Otis 施設での承認済み用途ではない限り、可搬型でコード式の電動工具と電動デバイスには必ず漏電回路遮断機 (GFCI) を使用します。



必ず閉所の存在を確認し、そこへの入場には書面による手続きに従います。



防護カバーなどが無い可動部分や電気回路の近くでは絶対に作業せず、身体のだの部位も近付かないようにします。



昇降路に近付く場合やその内部に入る場合、エレベータのカゴ上面やピットで作業する場合は、必ずエレベータを制御下に保持します。



ジャンパやシャントを使用する場合は、必ず承認済みの運転管理プロセスに従います。



エレベータ設備の吊り上げ作業、滑車操作、機械的固定では、必ず承認済みの運転プロセスに従います。



不具合のあるカゴ/稼働しているプラットフォームでは、必ず承認済みの運転管理手順に従います。



通常運転状態のカゴ上面には絶対に乗らないようにします。



ステップチェーンの操作や移動には、必ず検査用コントロールを使用します。



機械室またはピットに入る前には、エスカレータの緊急停止スイッチが正常に機能することを必ず確認します。



ステップやパレットを取り外した状態でエスカレータから離れて現場が無人的な場合は、必ず効果的な保護柵や警告を設置し、電気的および機械的に設備を固定します。



トラスで作業する場合は、ステップチェーンが動かないように必ず2種類の独立した手段で確実に固定します。



ステップ軸の上を絶対に歩かないようにします。



開口部分が1か所のみであること、そこに保護柵を設置していること、設備が点検中であること、および設備がいつものように動くかをすべての作業員が認識できるように明確な情報伝達ができる状態にあることがすべて確実な場合を除き、ステップやパレットを取り外した状態のエスカレータには絶対に乗らないようにします。

